

鶴見大学紀要

第58号

第3部 保育・歯科衛生編

目 次

小澤晶子、天野理江、宮尾奈々 介助歯磨きにおける音波歯ブラシのプラーク除去効果 — 歯列不正顎模型上での手用歯ブラシとの比較 —	1
清田法子 静電的に吸着したハイドロキシアパタイトナノ粒子の脱離に関する検討	5
渡辺孝章 口蓋に認められる骨隆起に関する一考察	9
天野珠路 コロナ禍における保育所の対応とその課題 — 子どもと保護者のケアを担う —	13
片川智子 遊びを支える保育行為としての環境の再構成 — 環境の再構成と捉えた事例の考察を通して —	21
河合高鋭 教育原理に基づくインクルーシブ教育についての一考察	27
木口恵美子、川池智子、綿貫恵子、戸田京子 「専門職としての保育士養成の現状と展望 ～福祉 4 資格の実習教育の比較を通して～」	33
鮫島良一、甲田美香 コロナ禍における附属三松幼稚園年長クラスの子ども達と担任が紡ぐ保育実践	41
田坂裕子、白川ゆう子、伊藤啓子 音楽を介したコミュニケーション支援 II — 音楽活動における指導者と前言語期の発達水準に遅滞を示す児との社会的相互交渉の分析 —	49
戸田京子、綿貫恵子 介護支援専門員の保有資格実態と課題 — 介護過程教育に注目して —	55
山田吉郎 瀬田貞二『幼い子の文学』における詩への提言	61
綿貫恵子、戸田京子 介護福祉士養成課程カリキュラム改正に伴う検討 — 本校のカリキュラムの見直し —	67



鶴見大学

令和3年2月

THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY
VOLUME 58
PART 3
STUDIES IN INFANT EDUCATION
AND DENTAL HYGIENE

CONTENTS

Akiko OZAWA, Rie AMANO, Nana MIYAO The effect of sonic toothbrushes in assisted tooth brushing on plaque removal — Comparison with the manual toothbrush on malalignment jaw models—	1
Noriko SEIDA Influence of electrolyte concentration on the desorption of hydroxyapatite nanoparticle adsorbed on the surface of QCM	5
Takaaki WATANABE Consideration concerning bone torus admitted in palate	9
Tamaji AMANO Nursery Schools Response to the COVID-19 calamity and Its Challenges — Caring for Children and Their Parents—	13
Tomoko KATAKAWA Reconfiguration of the environments as an act of early childhood education and care that supports play — Through discussion of reconfiguration of the environments and the case studies captured—	21
Takatoshi KAWAI A Study of Inclusive Education Based on Educational Principles	27
Emiko KIGUCHI, Tomoko KAWAIKE, Keiko WATANUKI, Kyoko TODA Current situations and prospects of childcare worker training as a professional — Comparison of practical training for four welfare qualifications—	33
Ryoichi SAMEJIMA, Mika KOUDA Childcare and Educational Practices of Children and Teachers in the Final Year Class of the Affiliated Sansho Kindergarten during the COVID-19 Pandemic	41
Yuko TASAKA, Yuko SHIRAKAWA, Keiko ITO Communication support by music II : Analyze of social interaction between a teacher and a pre-language period developmental disabled child in music activities	49
Kyoko TODA, Keiko WATANUKI Actual conditions and issues of qualifications for care managers — Focusing on long-term care process education—	55
Yoshiro YAMADA Opinions on Poems for Children offered by Teiji Seta “Osanai Ko no Bungaku”	61
Keiko WATANUKI, Kyoko TODA A consideration accompanied with the revision of the care worker training course curriculum — Review of our school curriculum—	67

FEBRUARY 2021

鶴見大学紀要投稿規程

(趣旨)

第 1 条 鶴見大学（以下「大学」という。）および鶴見大学短期大学部（以下「短期大学部」という。）において研究または教育に従事する者の成果を紀要に公表することについて定めるものである。

(投稿資格)

第 2 条 紀要に投稿できる者は、原則として、大学および短期大学部において研究または教育に従事する者およびこれと共同で研究に従事する者とする。

(投稿原稿)

第 3 条 原稿は、未刊行のものに限る。定期刊行物（学術雑誌、商業雑誌、大学・研究所紀要など）や単行本として既刊、あるいは、これらに投稿中の原稿は本紀要に投稿できない。ただし、学会発表抄録や科学研究費などの研究報告書はその限りではない。

(紀要の部編)

第 4 条 紀要の部編は 4 種類とし、その邦文および欧文の標題は次のとおりとする。

一 鶴見大学紀要 第 1 部（日本語・日本文学編）

THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY PART 1 (STUDIES IN JAPANESE LANGUAGE AND LITERATURE)

二 鶴見大学紀要 第 2 部（外国語・外国文学編）

THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY PART 2 (STUDIES IN FOREIGN LANGUAGE AND LITERATURE)

三 鶴見大学紀要 第 3 部（保育・歯科衛生編）

THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY PART 3 (STUDIES IN INFANT EDUCATION AND DENTAL HYGIENE)

四 鶴見大学紀要 第 4 部（人文・社会・自然科学編）

THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY PART 4 (STUDIES IN HUMANITIES, SOCIAL AND NATURAL SCIENCES)

(発行の回数)

第 5 条 紀要は、年度内に 1 回発行することを原則とし、その時期は年度末 3 月とする。

(提出原稿)

第 6 条 原稿の作成は、紀要刊行内規で定められた投稿要綱に従うものとする。

(原稿の提出先)

第 7 条 原稿は、投稿する部編の紀要委員に提出するものとする。

(原稿の提出締切日)

第 8 条 原稿の提出締切日は、部編により別に定める。

(編集)

第 9 条 編集は、紀要委員会が行うものとする。

(別刷)

第 10 条 50 部を超える別刷の費用は、著者が負担するものとする。

(著作権)

第 11 条 紀要の公開にともなう、複製権および公衆送信権に関わる著作権の行使は、原則として大学および短期大学部に帰属する。ただし、著者が自分の論文等を利用することは差し支えない。

二 論文等の全部あるいは大部分を他の著作物等に利用する場合には、その旨を大学および短期大学部に申し出ると共に、出典を明記する。また、一部分を利用する場合にも、文献あるいは図説の下に出典を明記する。

三 掲載された論文等の執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされた場合には、著者がその責任を負う。

附 則 この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

執筆者一覧

小澤晶子 (歯科衛生科教授)

天野理江 (歯科衛生科実習助手)

宮尾奈々 (歯科衛生科実習助手)

清田法子 (歯科衛生科助教)

渡辺孝章 (歯科衛生科教授)

天野珠路 (保育科教授)

片川智子 (保育科准教授)

河合高鋭 (保育科准教授)

木口恵美子 (保育科准教授)

川池智子 (保育科教授)

綿貫恵子 (保育科助教)

戸田京子 (保育科助教)

鮫島良一 (保育科講師)

甲田美香 (鶴見大学短期大学部
附属三松幼稚園教諭)

田坂裕子 (保育科講師)

白川ゆう子 (昭和音楽大学講師)

伊藤啓子 (昭和音楽大学特任教授)

山田吉郎 (保育科教授)

鶴見大学紀要 第58号

第3部 保育・歯科衛生編

令和3年2月23日 印刷

令和3年2月28日 発行

編集人 松本和美

小林一行

発行人 大山喬史

印刷所 株式会社 東プ

〒144-0052 東京都大田区蒲田4-41-11

発行所 鶴見大学

〒230-8501 横浜市鶴見区鶴見2-1-3

電話 045 (581) 1001番